



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 石丸 裕之 (TEL) 03-3847-0410
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	272,392	12.4	7,714	29.1	7,957	28.0	5,939	61.1
2023年3月期第3四半期	242,384	9.9	5,973	12.8	6,215	12.6	3,687	4.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,609百万円(93.9%) 2023年3月期第3四半期 3,408百万円(4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	266.72	262.22
2023年3月期第3四半期	166.56	162.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	134,188	50,358	37.2
2023年3月期	94,275	45,213	47.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 49,956百万円 2023年3月期 44,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2024年3月期	—	25.00	—		
2024年3月期(予想)				100.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年2月8日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	10.7	8,400	43.8	8,600	38.8	6,500	82.5	293.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2024年2月8日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1 社 (社名) 株式会社ブロッコリー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	24,050,000株	2023年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,747,182株	2023年3月期	1,861,322株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	22,268,210株	2023年3月期3Q	22,139,773株

- (注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2024年2月8日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、商業施設などの人流はコロナ禍からの回復が見られ、インバウンド需要も拡大している一方で、原材料価格の上昇や、少子化や消費者ニーズの多様化、エンタテインメントのデジタル化が進むなど、依然先行きが不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、玩具事業、アミューズメント事業がヒット商品や市場の拡大を取り込み、引き続き好調に推移したことなどにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,723億9千2百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は77億1千4百万円(同29.1%増)、経常利益は79億5千7百万円(同28.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億3千9百万円(同61.1%増)となりました。

なお、当社の持分法適用関連会社であった株式会社ブロッコリーの株式を追加取得し連結子会社化したことに伴い、第2四半期連結会計期間において段階取得に係る差益10億2千5百万円を特別利益として計上しております。また、同社のみなし取得日を2023年8月31日としているため、第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 玩具事業

玩具事業につきましては、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」など主にコンビニエンスストア向けに販売しているくじ商品や、「ポケモンカードゲーム」や「ONE PIECE カードゲーム」などのトレーディングカードが依然好調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は1,146億9千7百万円(前年同期比14.3%増)、セグメント利益は53億5千5百万円(同34.1%増)となりました。

② 映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、中間流通部門では「Snow Man 1st DOME tour 2023 i DO ME」などのヒット商品があったものの、メーカー部門の売上が低調に推移し、売上高は前年同期と横ばいとなりました。利益面につきましては、滞留在庫の評価損失の抑制や、比較的利益率の高い自社企画グッズの販売が好調に推移したことなどにより、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は497億1千6百万円(前年同期比0.3%増)、セグメント利益は4億7千4百万円(同280.2%増)となりました。

③ ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、「Nintendo Switch」や「PlayStation5」のハードの売上が引き続き好調に推移したことに加え、ソフトで「スーパーマリオブラザーズ ワンダー」などのヒット商品があったことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は773億4千7百万円(前年同期比12.0%増)、セグメント利益は15億5千6百万円(同8.5%増)となりました。

④ アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具市場がインバウンド需要も取り込み好調に推移していることに加え、当社運営のカプセル玩具ショップ「ガシャココ」の出店や、新規ロケーションの拡大により、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。なお、「ガシャココ」は2023年12月末日時点で102店舗を出店しております。

この結果、売上高は306億3千万円(前年同期比30.9%増)、セグメント利益は17億3千1百万円(同8.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ399億1千2百万円増加し、1,341億8千8百万円となりました。これは主に、株式会社ブロッコリーを連結子会社化したことによる資産の増加116億3百万円、現金及び預金の減少121億8千1百万円、受取手形及び売掛金の増加335億3千7百万円及びのれんの増加27億7千4百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ347億6千7百万円増加し、838億2千9百万円となりました。これは主に、株式会社ブロッコリーを連結子会社化したことによる負債の増加13億3千6百万円、支払手形及び買掛金の増加264億6千8百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ51億4千4百万円増加し、503億5千8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加59億3千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加6億7千3百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少14億8千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、玩具事業、アミューズメント事業が好調に推移したことにより、2023年11月10日に「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想を上回る見通しであります。

詳細につきましては、本日(2024年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,874	21,385
受取手形及び売掛金	33,555	67,681
電子記録債権	4,091	5,696
棚卸資産	7,480	11,160
その他	4,874	6,507
貸倒引当金	△3	△7
流動資産合計	77,872	112,423
固定資産		
有形固定資産	1,207	3,615
無形固定資産		
のれん	-	2,774
その他	1,796	3,948
無形固定資産合計	1,796	6,722
投資その他の資産		
投資有価証券	8,364	6,420
その他	5,054	5,027
貸倒引当金	△20	△21
投資その他の資産合計	13,398	11,425
固定資産合計	16,402	21,764
資産合計	94,275	134,188
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,594	60,491
未払法人税等	1,042	2,142
賞与引当金	227	1,115
その他	9,107	14,051
流動負債合計	43,971	77,801
固定負債		
株式給付引当金	236	267
役員株式給付引当金	76	188
役員退職慰労引当金	-	27
退職給付に係る負債	3,409	3,642
その他	1,367	1,901
固定負債合計	5,090	6,027
負債合計	49,061	83,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	3,322	3,353
利益剰余金	38,087	42,545
自己株式	△1,974	△1,870
株主資本合計	42,187	46,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,511	3,184
繰延ヘッジ損益	△4	△7
その他の包括利益累計額合計	2,506	3,176
新株予約権	519	402
純資産合計	45,213	50,358
負債純資産合計	94,275	134,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	242,384	272,392
売上原価	216,384	242,231
売上総利益	26,000	30,160
販売費及び一般管理費	20,026	22,446
営業利益	5,973	7,714
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	163	159
その他	118	125
営業外収益合計	282	285
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	38	26
その他	0	15
営業外費用合計	39	42
経常利益	6,215	7,957
特別利益		
段階取得に係る差益	-	1,025
投資有価証券売却益	87	-
会員権売却益	1	-
特別利益合計	89	1,025
特別損失		
固定資産除却損	7	5
関係会社出資金評価損	-	18
特別損失合計	7	24
税金等調整前四半期純利益	6,298	8,958
法人税、住民税及び事業税	2,025	3,072
法人税等調整額	585	△53
法人税等合計	2,610	3,019
四半期純利益	3,687	5,939
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,687	5,939

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,687	5,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256	672
繰延ヘッジ損益	△20	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△278	670
四半期包括利益	3,408	6,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,408	6,609
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	100,352	49,547	69,083	23,400	242,384	—	242,384
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	100,352	49,547	69,083	23,400	242,384	—	242,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,352	49,547	69,083	23,400	242,384	—	242,384
セグメント利益	3,993	124	1,433	1,601	7,154	△1,180	5,973

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,180百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	114,697	49,716	77,347	30,630	272,392	—	272,392
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	114,697	49,716	77,347	30,630	272,392	—	272,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	114,697	49,716	77,347	30,630	272,392	—	272,392
セグメント利益	5,355	474	1,556	1,731	9,117	△1,403	7,714

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,403百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,403百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2023年8月31日(みなし取得日)に行われた株式会社ブロッコリーとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、玩具事業・映像音楽事業・ビデオゲーム事業において、のれんの金額を修正しております。

詳細につきましては、「注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年8月31日(みなし取得日)に行われた株式会社ブロッコリーとの企業結合について、第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を見直したことにより、無形固定資産その他586百万円、固定負債その他202百万円がそれぞれ増加しております。

この結果、第2四半期連結会計期間において暫定的に算定されたのれんの金額3,303百万円は383百万円減少し、2,920百万円となっております。

なお、のれんの償却期間に変更はありません。